

令和 5 年度 職員取組状況調査結果報告書
(第 3 次飯塚市地球温暖化対策実行計画 (事務事業編))

令和 6 年 2 月

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

令和2年3月に策定した「第3次飯塚市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」で掲げている温室効果ガス排出量の削減目標を達成するための取組として掲げている内容のうち、令和4年4月～10月の職員による日常業務等における取組の状況を調査・確認したものを。

(2) 調査の対象・方法

①対象 正規職員（派遣及び休職中の職員を除く） 793名

②方法 Joy'nDo Todo 機能による調査方式

※本機能を使用できない対象者は紙の調査票にて提出

(3) 調査内容

「第3次飯塚市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」に記載している温室効果ガスを削減する取組のうち、日常業務に関する取組及びその他の取組に係る15項目の取組状況調査を行った。

(4) 調査期間

令和5年11月13日（月）～令和5年12月15日（金）

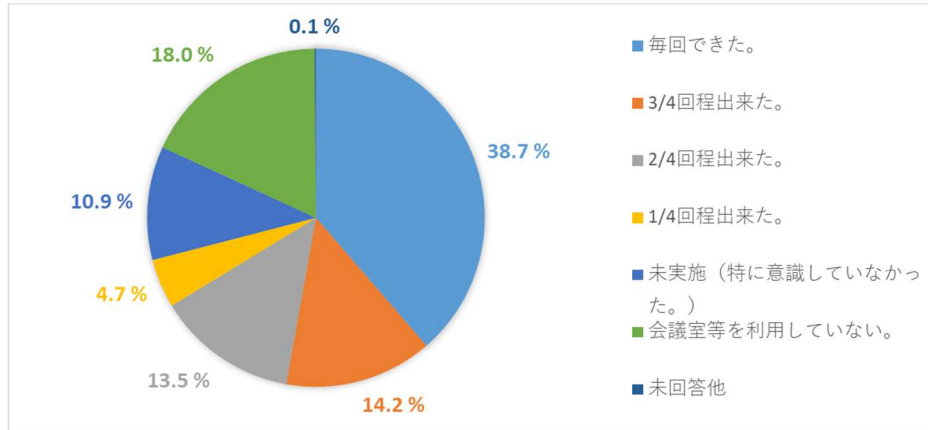
(5) 回答状況

回答者数 727名（回答率 91.7%）

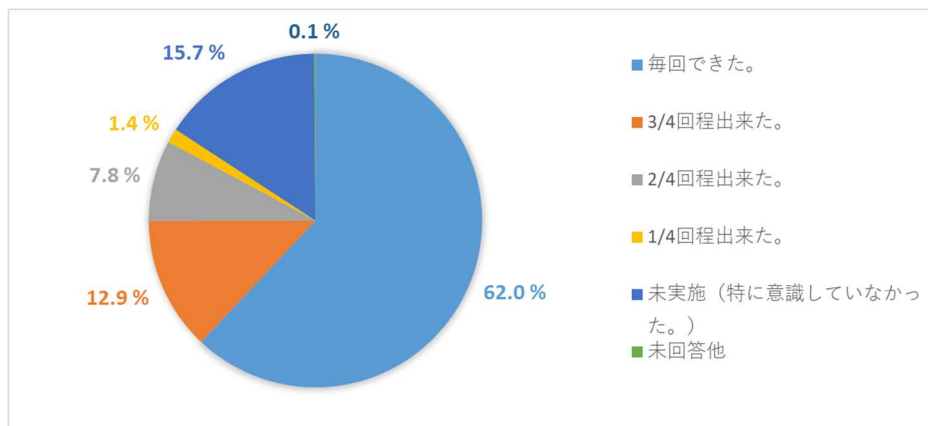
なお、各設問に対し回答をせず、Todo上で「完了」作業を実施しているもの及び選択肢以外の回答にて提出があったものについては「未回答他」として集計。

2. 調査の結果

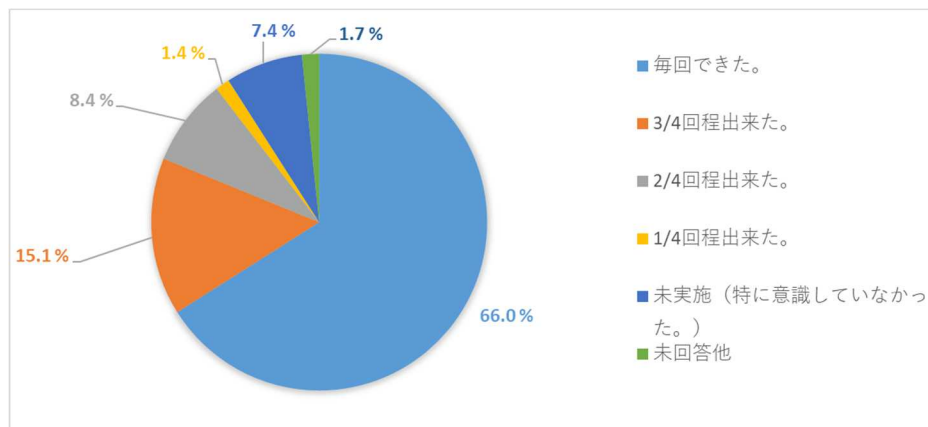
設問1 会議室等を利用する際に、冷暖房の設定温度を運転基準(夏季 28℃、冬季 19℃)のとおり設定し、使用終了時は空調を停止して退出した。



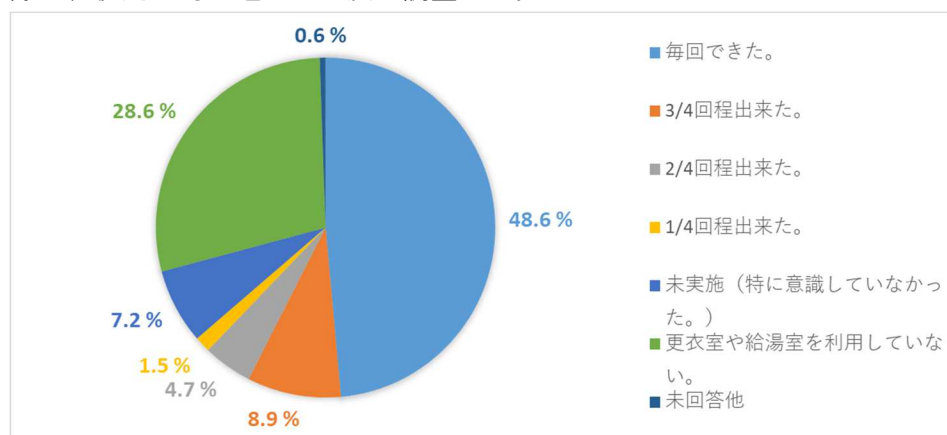
設問2 ブラインドやカーテンの開閉によって、日射の調整を実施した。



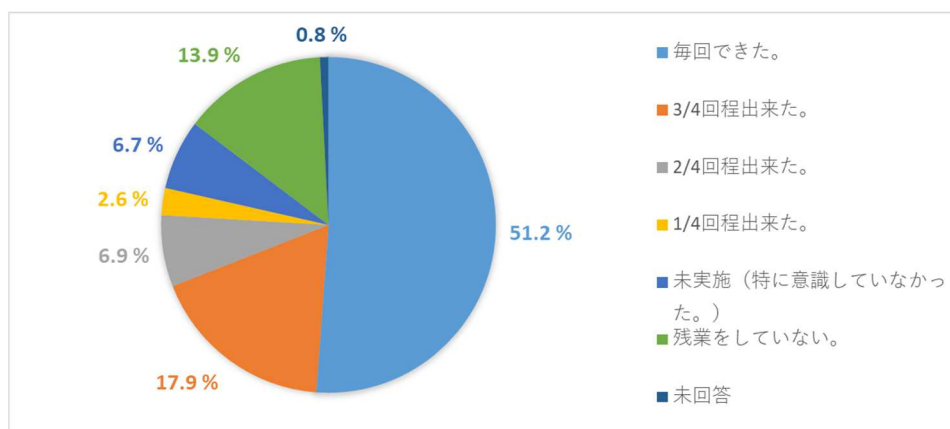
設問3 体温調整の一環として夏は冷たいもの、冬は温かいものを飲み、冷暖房の適切な使用のために、各自で出来る省エネルギー行動を実践した。



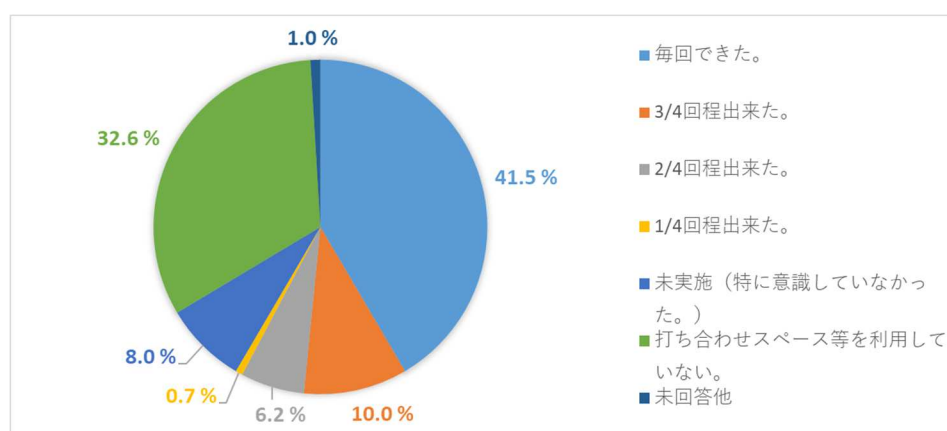
設問4 冬季以外において、更衣室や給湯室等での温水の利用を控える。また、使用する際は、使用目的に適した温度に調整した。



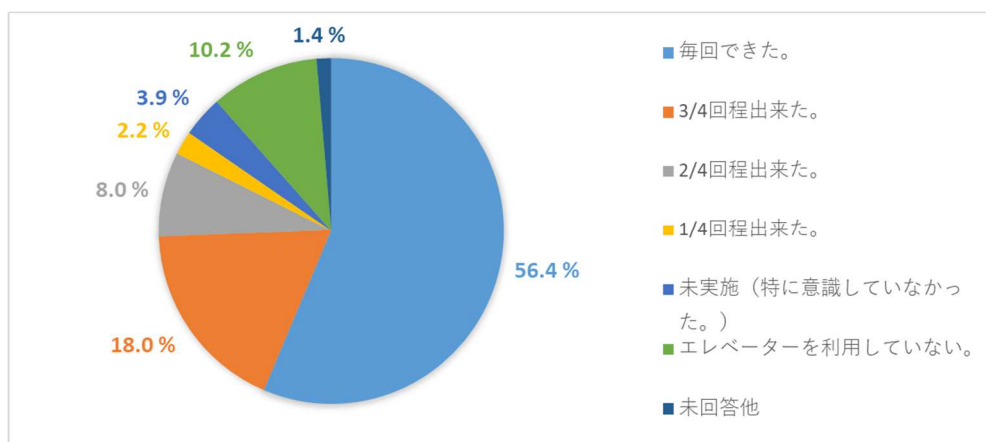
設問5 細分化された照明スイッチを活用し、残業時は不必要な照明を消灯した。



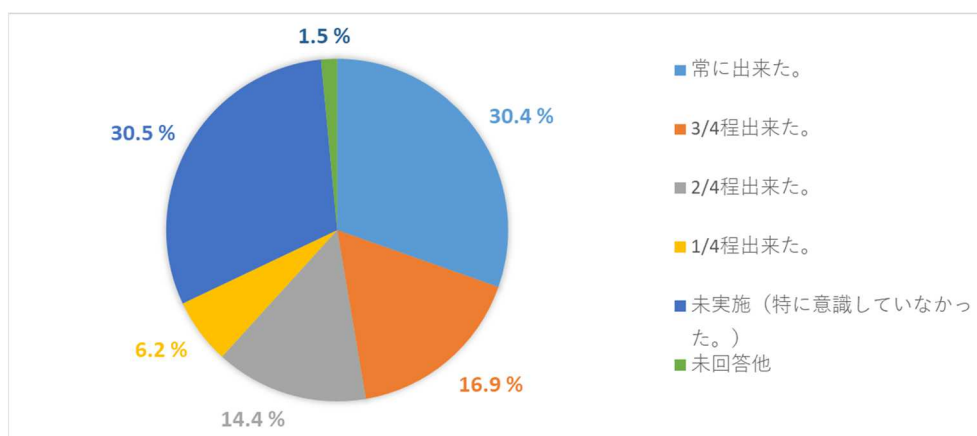
設問6 廊下等の打ち合わせスペースにおいて、自然光で支障がない場合に照明の使用を控えた。



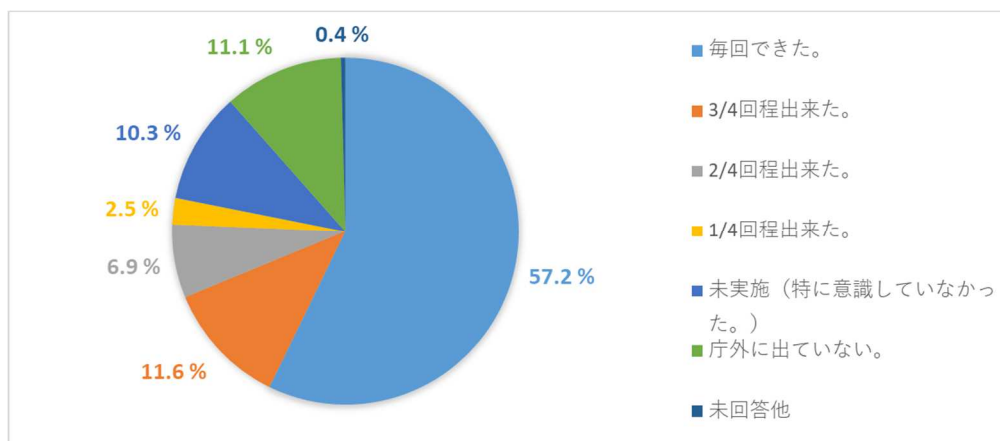
設問7 階段の利用を心がけ、エレベーターの利用では「3UP4DOWN」を実施した。



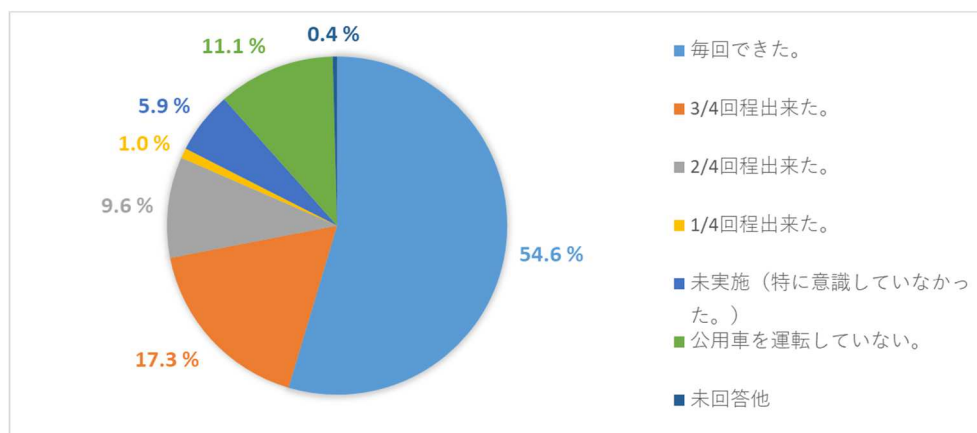
設問8 空調機稼働にかかる負荷を減らすための定期的な清掃または空調機器周辺に熱がこもらないようにするため、事務室・会議室内の整理・整頓を行った。



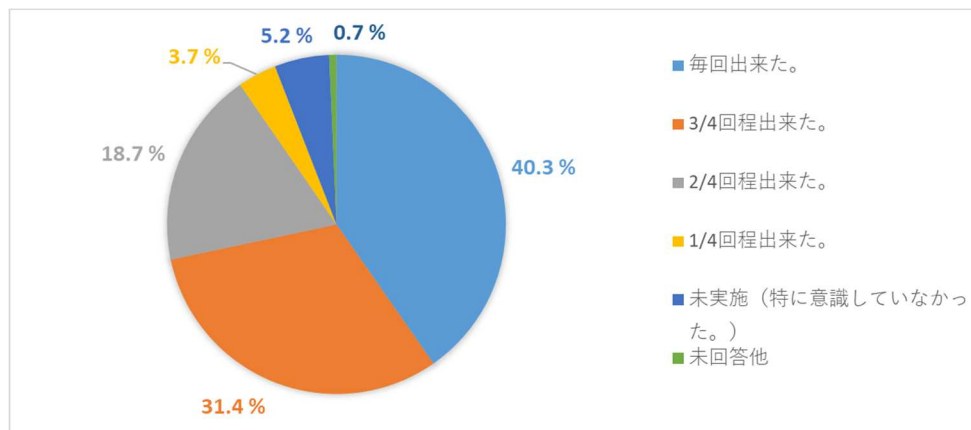
設問9 近距離の用務では、公用車を利用せず、徒歩で移動した。



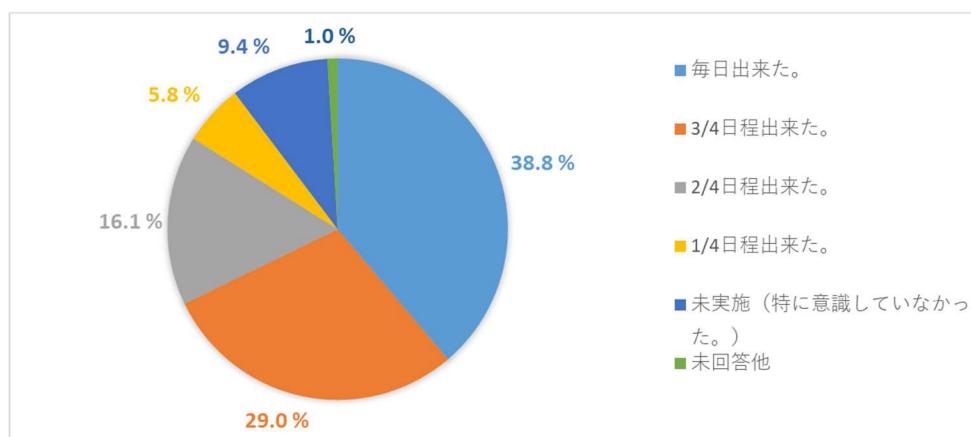
設問 10 公用車を運転する際はエコドライブ(ふんわりアクセル・無駄な減加速をしない)に努め、荷物の搬入時にはアイドリングストップを行った。



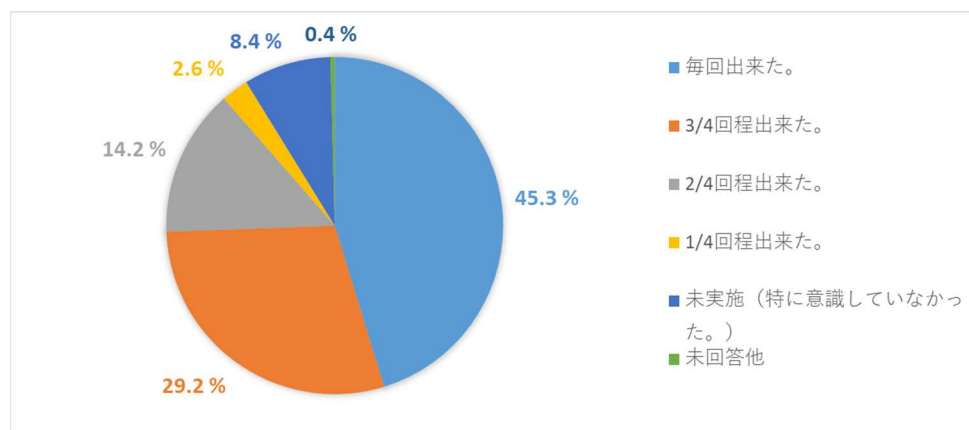
設問 11 文書や資料を印刷する際には可能な限り両面印刷を行う。また、庁内における文書の授受について、庁内 LAN 及び全庁共有フォルダの利活用により紙使用量の削減を行った。



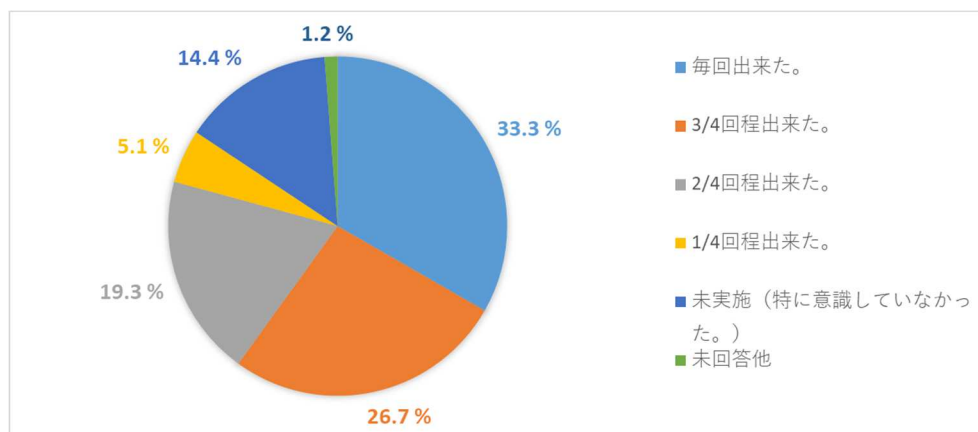
設問 12 マイ〇〇(マイバック、マイボトル、マイ箸、マイ弁当)を実施した。



設問 13 消耗品は詰め替えタイプを使用し、購入する際は簡易包装の物を選択したり、買い物袋を断った。



設問 14 不用品や一度利用した物について、再利用先や再利用方法を検討し、資源の有効活用に取り組んだ。



設問 15 商品を購入する際は、環境配慮物品であることや環境負荷が出来るだけ少ない環境配慮製品を購入した。

